



フォトナスムース™治療を受けた

94%の女性が、120日後には
腹圧性尿失禁が「とてもよくなった」

68%の方は「完全に症状から
解放された」とレポートしています。

95%の女性は、中程度以上の
膣の引き締まりを体感しています。



こんなお悩みはありませんか？

- 咳やくしゃみをするとおしっこがもれる
- ランニングやテニス、階段の上り下りでおしっこがもれることがある
- お風呂からあがると膣内にたまったお湯が出てくることがある(お湯もれ)
- 出産後、セックスの満足度が低下した気がする
- セックス時に空気が入って音になる
- セックスの時、痛い・出血がある
- 閉経後、アソコがかゆい
- 頻尿・排尿痛で悩んでいる
- ホルモン療法がこわいので止めたい

最新の治療法があります。
お気軽にご相談ください！

1種類の簡単な治療で...

3種類の驚くべき効果！



最新婦人科レーザー治療

FotonaSMOOTH™

インティマレーザー治療

腹圧式尿失禁(尿もれ)

膣弛緩症(膣のゆるみ)

萎縮性膣炎(痒み・性交痛・頻尿)

Fotona
choose perfection



腹圧性尿失禁 (SUI)

—尿もれ—

腹圧性尿失禁 (SUI) とは何ですか？

腹圧性尿失禁とは、咳やくしゃみをした時笑った時、ランニングや階段を上る時など、急に腹圧が高くなった時に尿がもれてしまう状態をいいます。女性に多く、とくに中高年の女性に頻度の高い病気です。

SUIの原因なんでしょうか？

膀胱や尿道の「しまり」が悪くなっている状態であり、膀胱を支える骨盤の筋肉（骨盤底筋）が弱くなっていることが原因となります。原因としては、経産出産や肥満、加齢、臓器脱などがあります。

SUIの今までの治療法は？

軽度～中程度の場合には、ケーゲル体操と呼ばれる骨盤底筋訓練が有効とされています。骨盤底筋訓練は、弱くなった骨盤底筋を強化し尿道を閉じる機構を強化する体操で、肛門や膣を意識的に締めたりゆるめたりして骨盤底筋を強化するもので、正しい方法で長期間続けることが重要です。

重症例や希望の強い場合などには、手術による治療が行われます。尿道括約筋を圧迫するように腹部の組織や人工線維で尿道を支えるスリング手術がありますが、入院の必要があり、重篤な合併を引き起こす危険があります。



膣弛緩症とGSM

—膣のゆるみと不快症状—

膣弛緩症・萎縮性膣炎とは何ですか？

膣弛緩症 (VRS) は、「膣壁のゆるみ」のことです。性交時の密着度が低下し、女性とパートナーの性感の低下の原因となります。入浴中に風呂の湯が入りあとから漏れる「お湯もれ」とよばれる症状の原因にもなります。

GSMは、Genitourinary Syndrome of Menopauseの頭文字をとったもので直訳すると「閉経後の尿生殖器症候群」、医療の現場では「閉経関連性器尿路症候群」とよばれる症状で更年期以降の女性に現れることが多く、膣壁が薄くなって乾燥したり、傷つきやすくなることにより様々な不快症状、膣のヒリヒリ感（炎症）、痒み、性交時の出血・痛み、が現れます。膣感染症の発症リスクも高く、カンジタ菌や細菌が繁殖しやすくなります。また、泌尿器の萎縮症に対するリスクが高くなり、頻尿、突然の尿意、排尿時の痛み、尿失禁や尿路感染症に頻繁にかかりやすくなる人もいます。

膣弛緩症やGSMの原因はなんですか？

膣弛緩症の一番よくある原因は、出産に伴う膣壁の過剰な拡張です。出産回数にも比例します。GSMは、エストロゲンというホルモンの減少が原因です。エストロゲンが減少すると、膣組織は薄くなり乾燥しやすくなります。膣の柔軟性が低下し、弱くなって損傷を受けやすくなります。エストロゲンの減少は、加齢（閉経）の他、授乳中、卵巣除去後（外科的閉経）、がん治療の化学療法・放射線療法、乳がん治療後の内分泌（ホルモン）療法後にも起こります。

膣弛緩症・GSMの今までの治療方法は？

今まで、膣弛緩症の治療法は外科手術以外にありませんでした。外科的に膣全壁や後壁を縫い縮める美容外科手術です。治療後のダウンタイム（安静期間）も長く、様々な合併症のリスクが高いうえ、満足度の低い治療でした。フィラーを注入する方法などありますが、コントロールが難しくやはり満足度の低い治療でした。

GSMの治療は、ホルモン剤や漢方薬の投与が一般的ですが、ホルモン剤は発がんのリスクが高まることもありがん治療後の患者様は使用できないなどの制限があり、また泌尿器のトラブルにはなかなか十分な効果を得られないことが多かったのです。

最新婦人科若返り治療 Fotona SMOOTH™ インティマレーザー治療とは？

腹圧性尿失禁・混合性尿失禁（尿もれ）

膣弛緩症（膣のゆるみ）

GSM（膣の痒みやヒリヒリ感・性交痛・頻尿やオリモノの増加・臭い）

骨盤臓器脱（子宮・膀胱の下垂や脱出）

など、加齢やホルモンの低下に伴う下半身の悩みを改善する最新の婦人科レーザー治療です。

インティマレーザー™治療のしくみ

膣の中に照射されたレーザー光が、膣壁と尿道の中のコラーゲン組織を加熱し、加齢に伴って減少したコラーゲン組織の再生を促します。この効果により膣壁の厚みが増し、膣全体が引き締まります。尿道の機能低下が改善され、尿もれを防ぎます。

治療の実際

婦人科検診で使用されるのによく似た器具を膣に挿入し、小さなレーザーハンドピースからレーザーを膣内と膣口・尿道口の周囲に照射します。照射は、たった15分で外来治療で行います。痛みもなく、安全で、効果の高い治療です。

治療後

治療後は、すぐに帰宅し日常生活に戻ることができます。術後数時間程度、照射部位がヒリヒリしたりすることがあります。また、透明なオリモノが2～3日続くことがあります。性交は1週間程度お休みすることが推奨されています。